



高知県北川村役場
広報

またがわ

6

No. 538

Jun 2011



4月21日 小学校春の遠足でモネの庭へ!!

Contents

学校通信 ②

香港（アンジェラ） ③

平成23年度村予算 ④

議会だより ⑤～⑭

中岡慎太郎先生顕彰会だより ⑮

保健だより ⑰

北川村の人口・世帯数

平成23年4月30日現在（ ）は前月比

人口	1,460人（+2）
男	678人（±0）
女	782人（+2）
世帯数	655戸（+2）
昨年同期の総人口	1,491人 世帯数662戸



1 春の遠足

4月21日(木)に全校児童でモネの庭へ春の遠足に行きました。運動場で班対抗ゲームをして交流を深めた後、6年生が1年生の手を引いてモネの庭に出発しました。到着後は、庭を散策し、「遊びの森」のアスレチックでみんな楽しく遊びました。



2 3年生リコーダー学習スタート!

3年生が待ちに待ったリコーダー学習が始まりました。初めての授業では楽器堂の方を講師にリコーダーの正しい使い方を学びました。講師の先生が吹くきれいな笛の音をマネして子どもたちも挑戦しますが、先生のような音色を吹くにはまだまだ練習が必要なようです。



3 体育集会

5月13日(金)に行った体育集会で、体力づくりのために筋力トレーニングと筋トレゲームをしました。最近の子どもたちは筋力の低下が課題となっていますが、北川小学校では、今後も体力の向上に取り組んでいきたいと思っています。



小学校

School communication

学 校

通 信



中学校

4 校外学習

4月20日(水)、ニッポン高度紙安芸工場と内原野公園で校外学習をしました。工場では、世界トップレベルのセパレータ生産工程を見学し、世界に通用する会社が地元にあることに感動しました。内原野公園では、昼食を食べ、ボートを楽しみ、生徒間の交流を図りました。



5 生き方学び講座

5月1日(日)、高知県立障害者スポーツセンターの片岡優世さんを講師に生き方学び講座を行いました。片岡さんは車いすバスケットや現在の仕事に就くまでの歩みなどを交えながら、自分の生き方や夢について講演してくださいました。この講演が、生徒達のこれからの生き方の参考になればと思います。





国際交流員 アンジェラ・チェン

香港 Hong Kong



2010年1月に私は1カ月かけてゆっくり香港を旅行しました。友達からも香港の人々、文化、生活などを詳しく教わりました。1カ月間旅行し、香港の人々のように何でも早いペースで生活でき、地元の市場やマーケットも行き、だんだんと現地に馴染んできました。やはり香港と言えば、思い浮かぶのは100万ドルの夜景、ビクトリアピーク、2階建てバス、香港スタイル中華料理など色々だと思います。

香港の正式名称は「中華人民共和国香港特別行政区」です。このような呼び方をされているのは、1842年から1997年までの間、イギリスの植民地とされ、1997年に中国に返



★限られた土地に住宅がひしめき合っています

還されたものの、完全に中国として機能できるまでには時間が必要とされていることからです。香港の面積は1,104キロ平方メートルで、東京都の約50%です。香港島と九龍は香港の二大都市で経済と観光の中心地です。およそ12%にあたる香港島の一部と九龍を中心に人々が居住しています。香港の人口は700万人ほど。最も人口数が多いのは中国人(華人)で、全体の95%を占めています。香港で普段話されている言葉は広東語です。イギリス系の会社などでは、英語、北京語、広東語の3カ国語を共通語として使われることが多いです。

香港の気候の特徴を一言で表すとすると、高温多湿。特に2月から4月にかけての湿度はひどく、一家に一台の除湿機が必要とされるほど。湿度の高い時期が過ぎ、5月頃から気温は徐々に高くなり、10月半ばころまでは最高気温30度くらいの夏の気候が続きます。夏は高温と湿度で街の中を歩いていると、まるでサウナの中にいるように汗が滴ります。毎年9月の中秋節(お月見をする日)を境に気候は秋に変わります。11月頃になるとぐっと気温は下がり、あっという間に冬になります。観光にはお薦めのシーズンです。私が香港に行った時は冬だったけど日本の冬に比べると、それほど気温は低くありませんでした。しかし、基本的に夏向きにできている建物は、風通しがよくできているため、香港の冬の体感温度は日本よりもだいぶ低く感じられ、2月中旬の旧正月頃まで寒さが続きます。

香港のビクトリアピークから見渡す100万ドルの夜景や、クリスマスシーズンのイルミネーションなどを見るために各国から観光客が訪れます。買い物好きな人に

とって香港はショッピング楽園といわれますが、過言ではないと思います。買い物となると、免税なので日本よりもっと安くできて、どんな小さい物であれ、地元の人のように値段を交渉して、絶対にもっと安くできると思います。香港の国民的行事として、イギリス統治時代の名残でクリスマスをお祝い習慣や、中国の一部として旧正月をお祝い習慣など、2つの街で東洋と西洋の異なる文化を体験できます。

香港は元々中国大陆から移住してきた人たちが多いけれども、香港式料理と聞いてすぐイメージするのは、西洋から渡ってきた洋食を香港風に、日本食を香港風に手を加えたものなどです。いずれも完全な洋食ではなく、完全な日本食でもない、「香港式」なのです。これこそ香港以外の国では味わうことのできない香港式なら



★「焗猪扒飯」(バイクド・ポークチョップ・ライス)

では料理だと思います。香港を代表する料理といっても過言ではない「焗猪扒飯」(バイクド・ポークチョップ・ライス)。たまねぎやマッシュルームがたっぷり入った濃厚なトマトソースの下に隠れた巨大な骨付き豚ロース。そして、その下には香ばしい米の炒飯がたっぷり。初めて「焗猪扒飯」を食した人は、この西洋料理とも香港料理とも言えない、絶妙な味のバランスに思わずうなってしまう。その上に、香港の人たちは友達や家族と朝から午後まで飲茶をしたり、喋ったりすることが大好きです。

海外から多くの観光客を受け入れ、フレンドリーな街として知られる香港ですが、その歴史や政治などを知ると、その複雑さがあるからこそ香港という小さな街が世界に大きな影響を与えていることがわかります。みなさんももっと深い香港を探ってみてください。



★お鍋の材料:豆腐や魚肉団子などの売り場



★卵形のカステラ



★魚売り場



★麺類店

日曜日みたいなマーケット

平成 23 年度

予算総額は 22 億 575 万 4 千円

23 年度各会計当初予算額

会 計 名	予 算 額	前 年 度 較 比
一 般 会 計	18億2,333万9千円	15.8%増
代替輸送特別会計	1,971万4千円	9.1%減
国民健康保険特別会計	2 億7,834万8千円	9.8%減
簡易水道特別会計	1,593万6千円	15.5%減
介護サービス特別会計	4,006万2千円	1.9%増
後期高齢者医療特別会計	2,835万5千円	1.4%増
合 計	22億575万4千円	13.7%増

平成 23 年 3 月議会が、3 月 9 日から 11 日までの 3 日間開かれました。この会期中に平成 23 年度の一般会計、特別会計を合わせて 22 億 575 万 4 千円の予算が提案され、慎重に審議した結果、すべて原案通り可決成立しました。

一般会計総予算 18 億 2,333 万 9 千円のうち、皆さんから納付していただく村税は 1 億 8,956 万 4 千円で、これを 3 月 1 日現在の人口（1,470 人）で割ると一人当たりの負担額は 12 万 8,955 円となります。

また、村民一人当たりを使う費用は 124 万 367 円となります。

一般会計の主な事業（18 億 2,334 万円）

企画・統計 20.3%	地籍調査費 1 億8,427万円	ふるさと雇用 再生特別基金 事業委託料 8,857万円	電源立地地域 対策交付金事 業 2,860万円	地域活性化・ 公共投資臨時 交付金事業 3,855万円	情報通信基盤 事業 2,030万円	
商工・観光 4.1%	商工会補助金 137万円	モネの庭維持 費等 763万円	観光協会補助 金 322万円	産業振興推進 総合支援事業 5,703万円		
消 防 3.3%	中芸広域連合 負担金 4,801万円	住宅耐震化促 進事業 177万円	家具転倒防止 等対策事業 55万円	ヘリポート舗 装工事 670万円		
教 育 7.0%	スクールバス 運行費 415万円	奨学資金貸付 564万円	学カステップ アップ事業 288万円	非常勤講師派 遣事業 901万円	中岡慎太郎館 運営事業 1,040万円	森林鉄道周辺 整備 400万円
建 設 5.0%	社会資本整備 総合交付金事 業（落合宗ノ 上線改良） 5,073万円	長寿命化修繕 計画策定委託 料 710万円	県営事業県道 改良工事負担 金 105万円			
農林業 4.1%	農業用溜池修 繕工事 500万円	農産物輸出事 業補助金 188万円	緊急間伐総合 支援事業 195万円	林道島日浦線 新設工事負担 金 720万円	奈半利川あゆ を守る森整備 負担金 1,128万円	鳥獣被害緊急 対策事業 303万円
健康・福祉 22.3%	北川村あった かふれあいセ ンター整備促 進事業 807万円	児童医療費 339万円 社会福祉協議 会補助 1081万円	後期高齢者医 療負担金 3,399万円 子ども手当 2,353万円	保育所運営費 5,904万円 ごみ・し尿処理 費 6,446万円	中芸広域負担 金（火葬場） 222万円 中芸広域連合 負担金（介護） 3,600万円	中芸広域連合 負担金（保健 福祉） 2,679万円
その他 33.9%	借入金返済 2 億5,115万円	議会費 4,912万円	選挙費 993万円			

議 会 だ よ り

発行責任者

議長 浜渦 康雄

議会の組織ができました

村議会議員の任期満了に伴い、4月24日に選挙が行われ、新議員8人が誕生しました。

5月2日に臨時議会が招集され、正副議長並びに常任委員会委員、議会運営委員の選出など、議会を運営していくための組織が決まりました。

浜渦議長挨拶

4月の選挙に村民各位のご支援を頂き、立候補いたしました結果、議席を頂きました。

また、5月2日の臨時議会では議長の席を頂きました。これも村民の皆様のご支援を頂き、長い議員生活を努めさせて頂いたおかげと、心から感謝いたしております。

今日の国の情勢は厳しく、どんなふうになるのかはまったくわかりませんが、村民の皆様方の力をお借りして、住みよい村づくりに一層努力して参ります。

本村にとっては、ゆずなど一次産業の振興が大きな課題です。執行部と緊張感を保ちながら力を合わせ、村政が前に進んでいくよう取り組みます
ご支援をよろしくお願い申し上げます。

第21代副議長



岩垣 実男 議員

第18代議長



浜渦 康雄 議員

○総務産業建設常任委員会

委員長



浜渦 純章 議員

副委員長



西尾 勝幸 議員

委員



尾崎 一マ 議員

委員



山嶋 文 議員

委員



大寺 正弘 議員

委員



田中 昭榮 議員

委員



浜渦 康雄 議員

委員



岩垣 実男 議員

○ 議会運営委員会

委員長 山嶋 丈
副委員長 尾崎 一マ
委員 田中 昭榮
委員 大寺 正弘

○ 特別委員会

ダム公害対策（全議員）

委員長 田中 昭榮
副委員長 浜渦 純章

○ 中芸広域議会議員の選出

浜渦 康雄
岩垣 實男
浜渦 純章



平成23年・

3月議会定例会

：行政報告：



大寺村長

近年、日本経済は一向に回復の兆しが見えない状況が続いております。こうした中、国の経済対策による交付金等の対応が図られてきたところであります。こうした経済対策も、現在のところ、平成23年度をもって終了となります。

北川村では、一昨年度より、平成23年度まで活用できる地域活性化・きめ細かな臨時交付金及び公共投資臨時交付金などを利用し、今まで立ち遅れていた基盤整備等を出来る限り進めておるところです。

まず、村民の方々が気にされているブロードバンドの工事に関し、議員各位をはじめ村民の皆様には非常にご心配をおかけしておりましたが、再三にわたり請負業者との工程の検討調整を行い、年度

内に完成できると確信しております。今後におきましても請負業者を督促し全力で取り組んでまいります。4月から防災情報や行政情報、中芸4町村内の無料電話、インターネットサービス等の運用を開始します。ただし、地上デジタル放送等のテレビ電波送信につきましては、アナログ放送が停止される7月23日までは試験放送を行い、翌24日から運用開始となります。このブロードバンド施設の完成により、これまで防災情報等の提供を行ってきたオフトーク通信につきましては、3月末をもって廃止することといたします。また、整備しておりました携帯電話基地局（崎山、ニタ叉、轟、安倉）4力所では、その完成とともに既に試験運用が開始されています。

次に、村民の皆様方にご迷惑を掛けておりました役場庁舎の耐震・大規模改修工事は予定通り工事完了し、3月22日から役場庁舎で業務を開始します。この間のご協力に感謝申し上げます。

温泉の源泉探査については、2月23日付で県より、温泉の源泉掘削に関する許可をいただきました。平成23年度末の稼働に向けて取り組んでまいりたいと考えています。

また、ドクターヘリのニュースを新聞などで既に目にしていること存じますが、そのヘリの離着訓練を県下で急きょ行うことになり、北川村では和田自然公園にて、本日10時15分頃行われる予定となっています。

このほか主要な事項について報告いた

します。

■ 行財政改革

集中改革プランについては、少子高齢化や過疎化による人口減に伴う国からの交付税等の歳入減少などが予想されることから、新たな集中改革プラン（改訂版）の作成に取り組んでおります。現在、最終調整に入っております。作成完了後、プランの実施に向けた取り組みを開始し、更なる事務事業の見直しや経費の削減、歳入の確保にも努めてまいります。

■ 保健福祉関係について

平成22年度より支給が始まった子ども手当の行方も確定していない状況であります。村としては、少子化対策の一環として、4月から、県の補助制度に村独自の支援の上乗せを行い第3子以降の保育料無料化を実施し、子育て世帯の負担軽減を図ります。厳しい財政事情ではありますが、子育てのしやすい村づくりを積極的に進めていきたいと考えています。

高齢者福祉政策として取り組んでいる「あったかふれ合いセンター事業」は、保健センターと小島集会所で実施しているミニデイサービスにおいて、既に延べ人数500人を超える利用となっております。また、村内9カ所の地区に於ける介護予防活動においては、延べ2,000人を超える利用があり、事業も順調に進んで

おります。今年で2年目の取り組みとなつては、昨年9月から県と日本福祉大学の指導を得ながら事業評価にも取り組んでいるところです。今後、本村における高齢者福祉の課題やニーズの把握をしながら、事業内容の充実を図ると共に効果的な高齢者福祉施策を展開していきたいと考えています。

■学力向上関係について

保育所における就学前の子どもの教育については、緊急雇用創出臨時特例基金に伴い「考える力」の基礎となるひらがな・カタカナの読み書きの習得を考慮した取り組みを進めています。それぞれの年齢において発達障害や個別支援を必要とする子どもに対しウエイトをかけてきたことにより、生活発表会や運動会などの集団活動が全体的に徐々にできるようになるなど効果が出始めています。今後も進学に向けて年齢に応じた適切な生活習慣能力や学力を向上させる取り組みをおこなってまいります。



■第1次産業の振興

ゆずの振興については、平成21年度の大豊作により販売営業を重点においた活動をし、行政と致しまして、こうした活動の支援を行って参りました。

JAとさあ芸本所の努力により、既に大手飲料メーカーによる北川村産のゆず果汁を使ったドリンクが2月7日から全国販売が始まっております。今年の秋口になれば、このメーカーとの取引量がこの程度になるか見通しが立つと共に、このメーカー以外にも取引の話があるように伺っています。

また、先月14日から24日までの間、村内6カ所ですず地域座談会を開催した際に、平成21年度産の販売見通しが立ったことなど報告を致しました。昨年の在庫の事を考えた時、特に生産者には、ご心配をお掛けしたことにより生産意欲の減退にもなりかねないと感じたところであります。

そうしたことから、どのようにすれば将来にわたり北川村がゆず産地であり続けられるのかといったような課題も再認識したところであります。

結果的に平成22年度産を含め、今後の販売見通しが立つことは非常に喜ばしいことではあります。「農協への出荷が如何にできるか、行政はその支援ができるか」という課題を背負っていることを念頭に、初心を忘れず、生産者、農協、行政が一体となって、取り組んで参りたいと考えています。

■観光の振興

土佐・龍馬であい博は、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の影響もあり、高知県全体で見ますと盛況のうちに幕を閉じております。その間の北川村における集客数は、年度見込みになります。中岡慎太郎館25、500人(対前年度比260%)、モネの庭54、000人(対前年度比90%)、北川村温泉17、200人(対前年度比102%)となっております。

高知県あげての取り組みになります。3月5日から志国高知龍馬ふるさと博として、昨年の盛り上がりを一過性に終わらせることなく、高知県観光全体の底上げに繋げていくために、歴史、花、食、体験を4つの柱とした取り組みが行われます。北川村では、この会場として「モネの庭」と「中岡慎太郎館」が選ばれております。特に、モネの庭に関しては高知県産業振興計画において平成22年度及び23年度の2力年にわたる計画を既に審査承認いただき、多目的ホールの整備など既に着手しているものもあります。引き続き支援が得られることになってまいりますので、本施策を実施し再興に努めてまいります。

また、昨年8月に発足しました北川村観光協会とも連携し、この好機を十分に生かし、注目されている重要文化財となつた森林鉄道や野根山街道、北川村温泉など観光の振興を図ってまいります。

■学校関係

高知県教育委員会主催による「平成22年度高知県児童生徒表彰」のボランティアの部で、北川中学校3年生・高橋未来^{たかはし みく}さんが個人の表彰を2月24日に受けました。

この賞は、「善行の部」「ボランティアの部」「芸術の部」「スポーツの部」など六つの部門に分けられ、それぞれの部門で顕著な功績のあつた個人、団体が表彰されるものです。

高橋さんは、「北川村やまなみ太鼓」の一員として、村内外において各種イベントのほか、福祉施設などでも演奏するなどの取組が評価されたと聞いています。

学校生活と両立させながら継続してきたボランティア活動・地域づくり活動であり、他の児童生徒の模範となる受賞に地域のみならずと賞賛を贈りたいと思います。

■中岡慎太郎関係

NHK大河ドラマ「龍馬伝」を皮切りに、県下関係機関で総力を挙げて取り組んでまいりました「土佐・龍馬であい博」や特別企画展など様々な催し物をおこなつた結果、近年にない入館者数を記録しております。

平成22年度の入館者数は、最終25、500人程度と見込んでおります。この結果は、中岡慎太郎先生顕彰会をはじめとする住民の皆様のご協力のたまものと

感謝いたしております。

現在、志国高知龍馬ふるさと博とも歩調をあわせ、中岡慎太郎館特設展「中岡慎太郎と陸援隊士・ガラス原板展」を開催しております。今後、3月12日から6月12日まで特別企画展「中岡慎太郎と陸援隊」、7月から「盟友・坂本龍馬」（仮称）の特設展示コーナーの開設、10月から特別企画展「土佐勤王党」（仮称）を計画しております。

そして、昨年に引き続き、第2回ゆずの郷 北川村 中岡慎太郎向学の道マラソン大会が4月17日（日）の本番に向けて着々と準備がすすめられております。昨年12月1日から出場者500人の募集を開始しており、2月末現在で289人の申し込みがあつております。今後はボランティアの確保や役割分担など、実行委員会を中心に万全の体制がとられていくことと思っております。また、大会当日は沿道での応援など地域の方々のご協力をお願いいたします。

■広域連合関係

◎安芸広域連合

安芸市町村圏事務組合関係では、新たな市町村圏計画（平成23年度から平成32年度までの10年計画）の策定を行い、めざすべき姿を「安全安心、健やか・活力ある安芸広域交流圏の形成」とし、地域資源を生かした産業振興により定住人口の増加に努め人口減少、少子高齢化傾向

の抑制をめざすとともに、自然環境や歴史文化遺産の保全、安全安心対策の推進などにより住民が豊かさを実感できる活力ある圏域づくりをめざすこととしております。

◎中芸広域連合

△消防▽

本年度1月末現在の中芸管内では、火災が2件発生しており、前年度同期に比べ1件の増となっております。

これから火災が発生しやすい春の季節を迎えることから、各分団員と中芸消防署職員による防火パレードや広報車、防災行政無線による火災予防の呼びかけを行い、火災予防の啓発に一層努めることとしております。

救急業務については、気候の変動等により急病者が増加し、出動回数で52件、搬送者数で46人の増加となっており、特に1月の出動回数は昭和47年の救急業務開始以来の、月別での最高となる95件となっております。

今後におきましても、住民生活の安全・安心確保のため、救急隊員の一層の資質向上に努めるとともに応急手当等の普及啓発を行い救命率の向上を図ってまいります。

中芸広域連合としては、火災や地震などの災害等への対応や住民の皆さんの安心・安全の拠点施設として、老朽化している現消防庁舎に代わる新庁舎の建設は速やかに行う必要があると認識してお

り、改めて消防庁舎の建設に向けて努力していきたいと考えているところであります。

また、かねてより取り組んできました新消防庁舎の建設については、田野町に建設することとして地元田野町が用地取得に努力してきたものの、建設用地全体を取得することが困難な状況となったことから、先月22日付で、田野町においては用地取得を断念し、消防庁舎建設候補地について取り下げる旨の申し入れがありました。しかし、その後、田野町から、再度地権者との協議を再開しており、今暫く時間的猶予をいただきたいとの申し入れがあつたことから、現在、田野町での交渉の行方を見守っているところであります。

△介護保険▽

介護保険業務については、被保険者数4,517人、要介護・要支援認定者数79人、居宅サービス利用者数394人、施設サービス利用者数180人となっております。給付実績は、対前年度比1・7%の減少となっております。

次に、地域包括支援センターが行っている予防給付ケアマネジメント業務については、1月末現在で要支援となった認定者は17人で、そのうち介護予防支援計画作成件数99件（居宅支援事業所委託分20件、包括支援センター79件）となっております。

△火葬場▽

火葬場業務については、中芸広域火葬場の供用開始以来、管内、管外から多くの利用があつており、1月末現在で220件の火葬を行っております。その内訳は、管内が176件（安田町43件、田野町39件、奈半利町60件、北川村23件、馬路村11件）、管外が44件となっております。

今後におきましても、適切な火葬業務はもとより、業務の特殊性に配慮した管理運営に努めていくこととしております。

△保健福祉▽

保健福祉業務については、業務広域化から約2年を経過し、保健福祉課として業務推進する活動体制も基盤も構築され、年間計画に沿って各事業の推進を図っているところであります。そのうち、健康づくり事業については、ガン検診についてはほぼ終了しており、町村によりバラツキがありますが肺ガン、胃ガン、大腸ガンの受診者は増加しております。なお、現在、来年度の検診計画等については構成町村とともに受診率向上を目指す取り組みを検討しております。

障害者保健福祉業務については、2月12日に共同作業所ホップあきとの協働取り組みとして「結いの里フェスティバルホップ・ステップ・ジャンプ」を開催し、中芸地域の障害者の発表など各団体等の協力も得て実施しております。また、1月には第2回目の自立支援協議会を開催し、相談支援や就労の体制整備を検討す

る「相談支援事業部会」や子どもの発達支援について「子ども支援部会」の立ち上げ等協議し今後検討していくこととしております。

高齢者保健福祉については、あったかふれあいセンター事業やパワーストリハビリ、介護予防事業の評価など、地域包括支援センターとも連携をし、より地域課題に即した介護予防活動などを進めております。

△工事進捗状況等▽

本年度の工事関係進捗状況等について、年度内執行予定の工事については、年度内に完了の予定です。

また、来年度へ繰越すべき工事関係は、国の景気追加対策に伴うきめ細かな交付金事業など国の財政措置によるものです。この交付金に絡む工事については、今回の補正予算・繰越明許費に計上してあります。

：一般質問：



尾崎 一マ 議員

ゆず振興計画の取り組みと進捗について

問 平成19年4月に第一次振興計画が、平成22年4月に第二次振興計画が発表された。それぞれに目標値が設定されているが、その中のひとつ「農家所得の向上」についてと、搾汁ラインの入れ替えの導入効果をどのように評価、検証しているかを問う。

答 村長

農家所得の一割向上は実現されていない。特に21年度産が大豊作であった事は、販路対策が十分でなかったと考える。これら対策を精査して行政として、販売支援していきたいと考えます。搾汁ラインの入れ替えについては、搾汁率の向上、衛生面等将来を見通して正解であったと考えます。

答 産業建設課長

ゆず園の新改植5ヘクタールの目標に対して、1・6ヘクタールの状況、青果農家を5人増やす、青果を200トン集荷も目標達成に至っていません。耕作放棄地の解消も詳細に把握してませんが、目標達成に向け取り組んでいきたいと考えます。

問 事業の取り組みにあたり、目標であったり目標値を持つことは重要である。詳細を把握した上で現状どう対応するのかという進め方をぜひやっていただきたい。農協も行政も系統出荷を依頼するが、21年度産のようなキロ110円でしか精算できないようであれば、北部の生産者のように、それで生計を立てておられる生産者は耐えられない。それらを踏まえ農協の説明に明確さが欠ける。例えば21年度産最終清算金額がキロ115円前後と説明があったが22年度産はそれらを上回り目標としてキロ179円～180円を目指すという説明がなされた。その根拠たる説明が不明確である。座談会では生産者への理解が行き届く資料と説明が必要であると考えるが所見を問う。

答 村長

農協より説明がなされていると思うが、生産者にその事が届いていないのなら、説明の仕方も工夫が必要であると考ええる。農協、生産者、行政も一体となってコスト削減、販売について取り組んでいきたいと考える。

職員の資質向上と地域理解の取り組みについて

問 今年度は職員の研修費用を22年度に比べほぼ倍増の87千円計上されている。22年度研修効果はどのようなものであったか所見を問う。また、入庁2年目の職員が全体の15%を占める状況にある。地域理解の取り組みについて問う。

答 村長

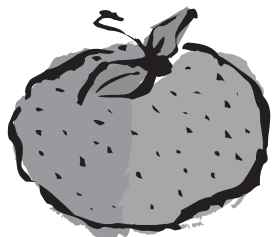
研修効果の一端として、職員同士で自主的な勉強会がなされるなど効果が見える。現在国の方でなされたした人事評価を将来は導入して人材を育てていきたいと考える。

庁舎内で縦割りではなく仕事ができないのではなく、他部署の基本的な対応はできるよう取り組んでいきたいと考える。地域理解の取り組みは職員間で取り組むように再三指導しているが現実取り組みていないが、北川村の観光施設や地域の情報発信がある程度はできるようにしたいと考える。

問 最近採用された職員は村外の人が多い。北川村の歴史を知ること、「北川村愛」に繋がると考える。庁内で基本的な勉強会を開催してはどうか。

答 村長

今の段階では、人の話を聞くことより、自らが勉強していく方が身につくと考えている。指摘は参考にするが、自らが対



処でできる体制づくりを進めたい。



西尾 勝幸 議員

河床低下抑制による保全と護岸を補強する工事について

問 小島橋上流と下流、キャンプ場前で施工している工事では、今後の大洪水に不安を抱くが、もし災害でもあればその後の保全はしてもらえるのか、また魚類等の生息場所としては適正か。

答 村長

ようやく県のほうが落差工、自然の石を使った事で河床の低下を防ぐ、防止する、こういった観点に立って工事を始めたところでもあります。当初、この工事計画ができて着工する前に、実は私も役場で高知県土木部の方から、説明を受けました。この前現地へ行ったとき、当時説明を受けた状況からすると非常に予想外に川が荒れておったということを感じたところでもあります。そしてその後帰ってきてすぐに、高知県土木のほうへ連絡して、これは当初の我々の想像しておった川とは違うということも一点申し入れを

いたしております。

もし災害でも発生したときには、積極的に県のほうへ県の管理の川でございまして、そしてそういった県の落差工をやることによって生じた問題であれば、当然県のほうへ積極的に復旧について要望していきたいというふうに考えております。

魚類については、奈半利川の水利対策協議会の中で、魚族の専門の高橋先生という人をずっと今まで専任で色んな調査をしていただいております。この先生の意見も聞いたうえで、こういった工法が決まったものじゃないかと考えております。ここには河床低下の石積みがある事によって、やっぱり淵ができ、また瀬ができ、そこには小さい土砂、大きな石、こういったものが混在する事によって、小さな生物から、大きな生物までがそこに生息することからするとですね、やっぱり生態系にはそれほど大きな影響はないじゃないかなと考えております。

ヘリポートの整備について

問 近い将来起こると思われる地震に対し、災害や病気に村民の安全を確保するためにも、中北部（和田・島）にヘリポートとして活用できるよう、整備を計画してはどうか。

答 村長

ヘリポートの問題ですが、村の構想と

としては3カ所くらい村内にヘリポートを設けたいなと考えてます。それが北部は島地区で、これは23年度の予算で可決をされました。23年度中に実現したいと考えております。和田につきましては、離着陸が十分可能であるということで候補地としては上げておりますが、今の段階ではまだここへ決めるとか、いうことは決定をいたしておりません。したがって和田、小島周辺で、もう1カ所へりに適したところがあるか、今の和田の河川敷については候補地のひとつであることは間違いありません。しかしここへ決定したとかいうことではありませんが、この周辺にヘリポートいうものを今後色んな状況、地域の人の意見、こういったものを聞きながらですね整備をしていきたいと考えております。野友周辺、南部地区にも1つできたら設けたいなと考えてます。この3つをヘリポートの基地としていきたいと考えております。



浜渦 康雄 議員

モネ公園の現況について

問 開園10周年という一区切りが終わっ

たが、モネ公園の経営内容を聞きたい。

答 副村長

モネの庭の経営状況についてお話をさせていただきます。まず先ほど議員からご質問があったようなところでございますが、指定管理者制度を18年度に行いまして、それ以降昨年21年度まで、概ねマイナス3、000千円を基準にして上下で累積の処分利益というところが推移してきております。

ただ今年、22年に至りましては、集客数が10%あまり減少しております。この原因は何かというところですが、今年NHKの大河ドラマ等もございました。モネの庭を訪れたいと思って来るかたは別として、ついでに来られていたかたというものが、龍馬であい博「龍馬伝」のほうにも、乗りかえられた。いわゆるこの「龍馬伝」の盛況に乗れなかったということが、まず一つあるのと、それとともに今回県の産業振興計画アクションプランに乗って再考をしていかんといかんというふうに至った中で、西日本、瀬戸内中心にギャップ調査というものを行っております。そのギャップ調査の中で、高知県下ではあまねく8割程度認知があるのに対して、隣の県、あるいは瀬戸内へ行くと3割切ったり、あるいは1割切ったりといった認知度しかございません。そういった結果が出ておりました。

要因を考えたところ、県内外の認知度の把握、それと告知、そういったものの連動した営業活動、それから新たに来る

ためのきっかけづくりですね、そういったことが不足してたんじゃないかというような検証をしております。県のアクションプランののって、この22年度、23年度の中で1個の要因を一つでも取り除いていきたい。上向きにさせていこうという取り組みをするようにしております。

観光協会について

問 北川村観光協会ができて一年近くになるが、どのような活動をしているのか。

答 産業建設課長

北川村の観光事業を振興して観光客の誘致を図り、北川村の産業、経済、文化の発展に寄与するという事を目的に設立されました。昨年の8月1日職員を採用して実質的な活動を開始いたしました。

これまでの取り組みとしては、東京の「はばたけ弥太郎 物産展」ですとか、愛媛の大型ショッピングモールでの物産展、あるいは京都の「龍馬よさこい」ですとか、高知市での「ふるさとまつり」と、そういうような各種フェアですとか、物産展での北川村のPRですとか、県のほうが主催でやりました「志国龍馬ふるさと博」キャラバン隊へ参加をして北川村のPR、あるいは県内外の旅行者ですとか、旅客運輸会社への営業活動とか、村内観光パンフレットの新たな設置場所の開拓ですとか、日本観光協

会、高知県観光コンベンション協会などのホームページへの観光情報の掲載とかいうようなことに取り組んできております。

また今年の1月からですがインターネットで観光協会のブログの公開をいたしております。観光協会の職員が折々訪れました村内の観光イベントですとか、森林鉄道の様子、あるいは村外での取り組みですとか、村の隠れたビュースポットですとかを、写真を交えて非常に読みやすく、親しみやすく、楽しいようなページを、ブログを、日記を掲載をいたしております。こちらから側から積極的に村民の皆さんも含め対外的にもお知らせをして取り組みが分かりやすくなるように努めていきたいと思っております。

光ケーブル施設工事について

問 光ケーブルは年度内に完全に終了するのか。工事の進捗率は？また宅内配線は地元の業者が行うとの説明であったが、県内外の業者が多く見受けられるがトラブル等は発生していないか。

答 村長

光ケーブルのことですが、非常に国からの指令が遅れたという関係もあって非常に工期が押し迫って来たということで、再三にわたって工程の調整をして最終的にできたのがそれやということでございます。特に一般質問用に資料を作ったわ

けでも何でもございませぬ。この件につきましては9日の日に当初の時に行政報告でも申し上げましたとおり、年度内に完成をめざすと確信をした。そうした工程の調整、業者とも含めた中で、確信をしておると、そういうことでございます。なお、宅内のトラブルということについては総務課長のほうから説明をしてもらいます。

答 総務課長

村内の宅内機器の設置につきましては当初の説明では中芸地区4業者が実施をするということで説明会等も行っております。ただし、うちの1社が室戸市のほうで元請け工事を請けておるということが後で分かりまして、その業者が実際のきました。そして中芸地区の業者が3社いうことになっております。それと後、工事の進捗状況によりまして工事が遅れておるといことがありますので、県外業者が参入をしております。

設置に対すトラブルにつきましては、設置当初につきましては若干村宮住宅のほうで1軒工事関係のトラブルが発生をしております。その後につきましては元請け業者とか入っておる下請け業者への指導を行っておりますので、トラブルというまでには至っておりませんけれども、施工中に住民の方から問い合わせとか、そういうことがございますので、その場合につきましては役場のほうにも連絡が入りますので役場の担当の者とか色々調整を行いまして、工事がスムーズ

に行くように配慮をしております。工事につきましては進捗のほうが重要でございますので、できるだけ早く完成をさせるように住民の皆様の協力をいただいて早期に完了させるように努めて参りたいと思っております。

2期目後半の大寺村政の力点は

問 2期目の大寺村政は近年みられなかった位、基盤整備に力を注がれてきたと思います。そこで村長が今任期中にこれだけはぜひ行いたいと思われる施策をお聞かせ願いたい。

答 村長

私は就任する時に、4年間、任期中のことをこつこつとをやりたいということとを申し上げてきたところでございます。ここで新たなことというものはございませんけれども、今まで掲げてきましたゆずの振興であつてみたり、観光の振興、学力の向上であつてみたり、財政の健全化、南海地震対策とか、こうした重点項目を、残された任期の期間中にさらに押し進めていきたいというふうに考えております。そうした中でも4年間ということでございますので、それまでに新しい事柄、こつこつとした時代も変化をしていきますので、4年、一切それから動かんかよということになりますと、そうではございませんので、今度手を付けたいなと思つのは2点くらいでございます。

その1点目が、小水力発電、これは前々から考えておりましたが、この小水力発電というのは今資料を取って担当課長のほうへ一定回して目を通せということとしますが、これの勉強会をやりたいということです。この勉強会の中では奈半利川の本流とかいうことじゃなくて用水路ですね、例えば大きな用水路、そこで水車を回して発電ができる、こういうことが可能やと、コストの面でどうなるのか、この辺を勉強していきたいと。

谷なり、奥に入っていきますとそこには落差を利用した小水力発電、ダムを造らず貯水のダムを造らずに、そういった発電を今後は勉強の過程で取り組んでいきたいなというふうに考えております。これは先に今までうちがバイオマススタウン構想、こういう認定を受けたわけでございますが、これについてもやっぱりエネルギーという観点からするとですね、今色んなことCO2の問題、こういうことが言われております。これにあまりCO2を排出しないクリーンなエネルギーとしてこういうものがうちとして考えられるんじゃないか、即、やるということじゃなくて、勉強会もして、知識を高めていきたいと考えております。

2点目は、障害者の自立ということ、これは議会の協議会でもちよっとだけお話をさせてもらいました。障害者の働く場がない、障害者が自立していくためには働く場がなかったらいかんということで、実は中芸地区には一カ所もございません。そういったことで何とかそう

いったものを実現したいと。これはただ残された2年のできるかどうかは分かりません。しかしながら今できることは今着手をしてやりたいというふうに考えております。

：議案審議：

北川村光をそそぐ交付金基金条例の制定について

これまで住民生活にとって大事な部分でありながら、光が十分に当てられてこなかった分野に対する取り組みの強化をはかるため、基金を設置するものです。

全員賛成（可決）

中芸4町村情報通信基盤施設の設置及び管理に関する条例の制定について

中芸4町村の情報通信施設の設置及び管理について必要な事項を定めるものです。

全員賛成（可決）

北川村移動通信用鉄塔の設置及び管理に関する条例の制定について

北川村移動通信用鉄塔の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものです。

全員賛成（可決）

北川村集会所の設置および管理に関する条例の制定について

北川村集会所の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものです。

全員賛成（可決）

北川村暴力団排除条例の制定について

北川村からの暴力団の排除について基本理念等を定めるものです。

全員賛成（可決）

職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例について

法の改正により、条例の一部を改正するものです。

全員賛成（可決）

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

法の改正により、条例の一部を改正する

るものです。

全員賛成（可決）

北川村農業センター設置条例の一部を改正する条例について

設置場所、使用料等を改正するものです。

全員賛成（可決）

北川村農村婦人の家設置及び並びに管理に関する条例の一部を改正する条例について

設置場所、使用料等を改正するものです。

全員賛成（可決）

北川村老人保健特別会計設置条例を廃止する条例について

制度廃止に伴い、条例を廃止するものです。

全員賛成（可決）

平成22年度北川村一般会計補正予算（第5号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、143,775千円を増額し、歳入



歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2、716、738千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成22年度北川村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、1、472千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ273、396千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成22年度北川村老人保健特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、44千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3、624千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成22年度北川村簡易水道特別会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、3、445千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19、740千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成22年度北川村介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、3、244千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ42、577千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成22年度北川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、1、282千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ29、242千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成23年度北川村一般会計予算について

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1、823、339千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成23年度北川村代替輸送特別会計予算について

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ19、714千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成23年度北川村国民健康保険特別会計予算について

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ278、348千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成23年度北川村簡易水道特別会計予算について

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ15、936千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成23年度北川村介護サービス事業特別会計予算について

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ40、062千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成23年度北川村後期高齢者医療特別会計予算について

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ28、355千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成23年

第1回議会臨時会

平成23年2月7日（月）に開催されました。

：議案審議：

中芸4町村情報通信基盤整備工事請負契約の一部を変更する契約の締結について

契約金額を 452、162、591円とするものです。

全員賛成（可決）

平成22年度北川村一般会計補正予算（第4号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、2、500千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2、963千円とするものです。

全員賛成（可決）

平成23年・

第2回議会臨時会

：議案審議：

固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告承認について

関係法令の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

全員賛成（可決）

北川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告承認について

地方税法施行令の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

全員賛成（可決）

北川村国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の報告承認について

健康保険法施行令等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

全員賛成（可決）

平成22年度北川村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の報告承認について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ、2、560千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2、75、956千円とするものです。

全員賛成（可決）

監査委員の選任について

賛成多数（同意）

4月30日で任期満了となった議員選出監査委員に尾崎一マ議員が選出されました。



尾崎 一マ 議員

お知らせ

地域の皆さまと知事との 「対話と実行」座談会を開催します

地域の皆さまとの対話を通じて、地域の実情や課題を把握し、県政に反映させるため、平成20年度から「対話と実行」座談会を開催しています。

本年度のテーマは「地域の活性化に向けて」です。

熱く議論する知事の話聞いてみませんか。

ぜひ傍聴においでください。

日 時 6月11日（土）

午前10時～12時

場 所 奈半利町保健センター



問い合わせ先

高知県広報広聴課 ☎ 088 - 823 - 9898



中岡慎太郎先生顕彰会だより



1. 4月13日(水)に 中岡慎太郎先生の生誕祭を行う

4月13日は、中岡慎太郎先生の173回目の誕生日にあたります。顕彰会では、遺髪墓地の清掃と、生家の広間に祭壇を設けました。午後からは、柏木の交流センターで昼食会を開催し、県内外からの来客を接待しました。



生家で祝う

来客者の感想

今の時代から見ると名を捨て命を捨て国事に奔走した姿には感謝しています。今こそ彼の行動からもっと学ぶべきことがあるのではないかと、今回北川村を訪れて強く感じました。

兵庫県・小場佐さん

2. 平成23年度中岡慎太郎先生 顕彰会定期総会を開催

4月16日(土)、午後2時より村民会館で「平成23年度中岡慎太郎先生顕彰会定期総会」を行い、平成23年度事業案、予算案と役員等を決めました。

総会後に、大林幸二さんの中岡慎太郎伝「維新の若虎」の新曲発表がありました。



定期総会



新曲を発表する大林さん

平成23年度役員

会 長	大西 学
副 会 長	濱渦 貴資
	和田 拓司
会 計	小山 朝光
監 事	濱渦千恵子
	濱渦 悦裕
事務局長	竹村 孝雄

3. 災害派遣隊員に激励品を贈る

被災地の石巻・女川地域で復旧活動している香南市の陸上自衛隊災害派遣部隊に、(株)北川村ゆず王国取締役加藤忍氏より寄贈のゆず商品を、顕彰会の手紙を添えて、4月19日(火)に、激励品として顕彰会代表が贈りました。

4. 生家と周辺、遺髪墓地と島村策吾顕彰碑を清掃

4月28日(木)に顕彰会は、生家と周辺、遺髪墓地と島村策吾顕彰碑を約3時間かけて清掃をし、GWに向けて来客が気持ちよく訪れるよう環境整備を行いました。



遺髪墓地の清掃



斜面の草刈り



島村策吾墓清掃

5. GW イベントを行う

4月30日(土)・5月1日(日)に、顕彰会は、「幕末村体験」として「抹茶体験」「和弓体験」と「ポン菓子実演販売」等を行って、多くの来客をもてなしました。



抹茶体験



和弓体験



ポン菓子実演販売

6. お知らせ

6月19日(日)午前7時30分の高知放送の「土佐の昔話」で中岡慎太郎が放映されます。ご覧ください。



モネの庭からのお知らせ

6月18日・19日 睡蓮とジュンブライドの世界
モネの庭フローラルホールにて開催

7月23日～8月20日の毎週土曜
夜の開園とジャズのタベ

花の庭のキャンドルナイト。ギャラリーでは
ジャズの演奏もお楽しみいただけます。

同時開催のビアガーデンは要予約
(18時～20時 お食事と飲み放題 3500円)



ご冥福をお祈りします



氏名	年齢	地区	死亡年月日
平岡 一郎	83歳	平鍋	平成23年3月7日
松本 兼弥	99歳	野友上	平成23年3月19日

観光協会からのお知らせ

こんにちは。4月1日から観光協会のデスクが役場の産業建設課内に移り、「モネの庭」内にデスクをお借りしていた時よりも多くの村民の方々に気軽にお声をかけていただける環境になったように感じています。

さて、4月上旬に高知自動車道南国SA(下り線)で「北川村物産市」を開催しましたが、テントに貼った“北川村”の文字を見た方から「最近、北川村は元気やねえ。色んなところで名前を目にする」と言っていただきました。高知県西部地域の方でしたが、なんだかうれしかったです。まずは高知県内に元気をアピールして、徐々に県外へ！ 一步一步、北川村を外に向けて発信していけるように、もっと色々な場所で北川村の名前を目にしていけるように更に頑張ります！

**志国高知 龍馬
ふるさと博
PR キャラバンに参加**



保健だより

**7月に保健センターで、特定健診やがん検診などを実施します。
積極的に健診（検診）を受けて、健康状態を確認しましょう！！**

健診（検診）内容	対象者	料 金	実施日・会場・受付時間		
			7月4日（月） 北川村保健 センター	7月27日（水） 北川村保健 センター	7月28日（木） 北川村保健 センター
特定健診	40歳以上	無料		9：00～11：00 13：00～14：00	9：00～11：00
肝炎ウイルス検査	40歳以上で過去に検査 を実施していない方	無料		9：00～11：00 13：00～14：00	9：00～11：00
肺がん検診	40歳以上	無料		8：30～11：00 13：00～14：00	8：30～11：00
胃がん検診	40歳以上	900円	8：30～10：00		
大腸がん検診 （容器配布）	40歳以上	300円	8：30～11：00	8：30～11：00 13：00～14：00	8：30～11：00
前立腺がん検診	50歳以上の男性	300円		9：00～11：00 13：00～14：00	

- ＋北川村に住所を有する方であれば、中芸地区内の健診場所でも受診することができます。
- ＋他町村の会場で特定健診やがん検診などの受診を希望される方は、役場住民課へご連絡ください。
- ＋国保の保険証をお持ちの方で40歳から74歳までの方は、医療機関でも特定健診が受けられます。
医療機関で受診希望の方は、医療機関に健診予約をした上で役場住民課へご連絡ください。

特定健診は無料で受診出来ます！

※各種がん検診について、75歳以上の方、生活保護法による被保護世帯に属する方は、すべての検診料金が免除されます。

問い合わせ 北川村役場住民課 ☎ 32－1214

特定健診を受けよう！



短歌教室



やっと来た生きているよと言う通り
長らえし命お役に立ちたしと
田村猪世子

震災に外国人のあたたかさ
援助の声に胸あつくなる
社城 芳子

山桜山の峯にて咲きみだれ
風にさそわれハラハラとちる
飛崎 幸子

葉をふるい花芽たくわえ春を待つ
今日か明日かと蕾ふくらむ
大西 豊

てんでんこ必死に逃げる子供等の
姿浮かびて涙出できぬ
浜渦美恵子



みどり保育園

PHOTO通信



カレーパーティ
5月10日(火)



親子社会見学
5月13日(金)

ダム放流にご注意！



- 今年も間もなく、梅雨入り・前線の通過・台風を迎える時期となりました。奈半利川上流域では集中豪雨が頻繁に発生します。
- 水量の増加に伴って、上流の魚梁瀬ダム・久木ダム・平鍋ダムには大量の水が流れ込み、溜めきれない水はダムから放流することがあります。
- ダムから放流するときは、スピーカーで放送したのちサイレンを2回鳴らします。また、放流中は回転灯が回り電光板で表示しますので、川に入られる方は十分ご注意ください。
- 発電使用水量などのお問い合わせは「電源開発テレホンサービス」をご利用ください。(☎38-2525)



電源開発株式会社高知電力所 ☎38-4003

保健衛生・福祉行事予定表

事業	実施年月日	実施時間	実施場所・引き取り場所
乳児健診	6月10日(金)	4カ月、6・7カ月児 13:00～ 10カ月、12カ月児 13:15～	田野町保健センター
1歳6カ月児健診	6月17日(金)	(受付)13:00～	田野町保健センター
親子ふれあい広場	毎週月・木曜日	9:00～16:00	北川村保健センター
ゆずみどり	毎週木曜日		北川村保健センター
野友介護予防教室	6月2日(木)・9日(木)・16日(木)・23日(木)・30日(木)	10:00～	北川村保健センター
加茂介護予防教室	6月3日(金)・10日(金)・17日(金)・24日(金)	10:00～	北川村農業センター
久府付介護予防教室	6月1日(水)・8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水)	10:00～	北川村農村婦人の家
柏木・崎山介護予防教室	6月2日(木)・9日(木)・16日(木)・23日(木)・30日(木)	13:30～	柏木交流センター
野川さくら会	6月1日(水)・8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水)	9:30～	野川交流センター
長山せせらぎ会	6月7日(火)・14日(火)・21日(火)・28日(火)	9:30～	長山交流センター
中部けんこうクラブ	6月3日(金)・10日(金)・17日(金)・24日(金)	10:00～	小島集会所
島ばら会	6月16日(木)	10:00～	北部集会所
小川ふれんど	6月9日(木)	10:30～	菅ノ上集会所
就農相談	6月10日(金)	13:30～15:00	土佐あき農協安田支所

平成23年6月30日は集合村税第1期の納期限です。お忘れなく！